

- 1 主題名 ふるさとを思う心 (資料名「私の町」 光村図書)
- 2 ねらい 新潟県村上市の、郷土祭りや町並みなどに対する思いを考えることを通して、自分たちが住むふるさとのよさを継承することに努めようとする実践意欲と態度を養う。

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、内容項目C-(16)「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を育成することをねらいとしている。

「郷土」とは、自分の生まれ育った土地ないし地理的環境のことである。また、郷土とは文化的な面を含んでおり、自分らがその土地で育てられてきたことに伴う精神的なつながりのある場面を示している。美郷町では少子高齢化、過疎化が進んでおり、高校がないため、生徒は中学校を卒業すると美郷町を離れざるを得ない。しかし、生徒にとって地域社会は、家庭や学校とともに重要な生活の場である。こうした郷土を保つためには、郷土によって育まれてきた伝統と文化に触れ、そのよさに気づき、郷土に対する誇りや愛着をもつことが必要だと考える。また、地域を支えてきた先人や高齢者などの先達のおかげで、今のこの暮らしを営むことができているのだと認識することにより、尊敬の念や感謝の気持ちを深め、今後は自分たちの力で、地域に住む人々とともに、地域社会をよりよいものに発展させていこうとする自覚をもつことが必要だと考える。

中学生の段階では、自我の確立を強く意識するあまり、自分が自分だけで存在していると考えがちである。しかし、家族や社会に尽くした先人や高齢者などの先達によって自分が支えられて生きていることを自覚し、それらの人々への尊敬と感謝の気持ちを深めることは極めて大切なことである。郷土や地域を愛し、積極的・主体的に関わり、郷土のために自分ができることは何かを考え、郷土の発達のために自分が寄与しようという意識を高めたいと考えている。

(2) 生徒について

本学級の生徒は、小学校1年生より、総合的な学習の時間において、美郷町の自然環境や歴史、産業について学習をしてきた。中学生になってからは、美郷町の現状を知り、課題を見つけ、解決方法を探る学習に取り組んできた。今年度の7月には、少子高齢化と人口減少が進む美郷町を守るために、自分たちにできることを考え、修学旅行での活動の一環として、大阪の商店街で美郷町のPR活動を行った。PR活動をすることで得られた課題に向き合い、探究学習を進めている。

道徳の時間においては、ふるさとを思う心について深く考えることができるようにするために、美郷町のために自分たちに何ができるかという、具体的な取組について考えさせるのではなく、ふるさとのよさを継承していくためには、どのような思いが大切なのかという視点から迫るようにする。

(3) 資料について

そこで、ふるさとのよさに改めて気づき、継承しようとする実践意欲と態度を養うために、読み物資料「私の町」(光村図書)を取り上げる。美郷町と同じような状況にある新潟県村上市を題材にした読み物資料を扱うことで、ふるさとに対する複雑な気持ちに迫ったり、客観的にふるさとの良さを見つめたりすることができるようになると思う。

主人公の「私」が住む新潟県村上市には「村上大祭」があり、少子高齢化による人手不足も協力して乗り越えている。「私」は古い町屋に住んでいることが不満であったが、観光客に認められて、誇らしく思うことができたという内容である。

住む町に対する主人公の「私」の思いや、不満だった町屋が誇らしく思えた理由を深く考えさせたいことで、自分たちに置き換え、共感させていくことで、地域の一員として郷土を愛することの大切さに気付かせていく。そうすることで、自分たちの住む地域の伝統や文化のよさやすばらしさについて自覚させ、それを守り、発展させていこうとする思いが深まるようにする。

(4) 指導について

導入の段階においては、自分たちの住む美郷町の特色や地域行事について考え、ふるさとのよさについて想起することができるようにし、学習への動機づけとする。

展開前段では、読み物資料「私の町」から、古い町屋が不満だった「私」が、観光客に声をかけられた後、家の中の梁と柱がいつもと違って見えた理由を考えることで、自分では気付かないふるさとのよさに気付くことができるようにする。

展開後段では、自分たちが住む美郷町に置き換えて、変わったらいいな、こんなふうになったらいいなと思うことやものと、残したい、守りたいと思うことやものについて考えさせ、幅広い視点からふるさとも見つめ直すことができるようにする。変わってほしい部分も、美郷町に住み続けたいからこそ、湧いてくる考えであることに気付かせたい。

終末の段階では、ふるさととは何かを問い、ふるさとを思う心について迫りたい。また、美郷町に住む人々のインタビュー映像を見て、地域を支えてきた先人や高齢者などの先達のおかげで、今のこの暮らしを営むことができているのだと認識し、尊敬の念や感謝の気持ちを深め、今後は自分たちの力で、地域に住む人々とともに、地域社会をよりよいものに発展させていこうという気持ちを高めていけるようにする。

4 事前・事後指導

事前指導	総合的な学習の時間において、修学旅行で取り組んだ美郷町のPR活動で得られた成果や課題についてまとめたり、解決策を考えたりする学習をすることを通して、今後美郷町を守るためには、新たにどのような活動をする必要があるか主体的に考えることができるようにする。
事後指導	本時の学習を踏まえて、総合的な学習の時間において、美郷町を守るために自分たちにできる新たな活動を役場に提案したり、実践したりする活動をするを通して、ふるさとのよさを継承しようとする実践意欲を行動に移すことができるようにする。

5 学習指導過程

過程	学習活動及び学習内容	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 自分の住む地域の特色や地域行事などについて考える。 ○ 私たちの地域のよさ ○ 学習のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">ふるさとを思う心について考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・人があたたかい ・祭りが盛り上がる ・自然が美しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの住む地域の良さについて考えさせることで、ねらいとする価値への方向付けを図るようにする。
展開前段	2 資料「私の町」を読んで考え、話し合う。 ○ 観光客に声をかけられた後、家の中の梁と柱が「私」にはいつもと違って見えた理由	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が恥ずかしいと思っていた町屋が、観光客にとっては羨ましいことなのだと気づいたから。 ・昔から、梁と柱が町屋を支えてくれていると感じられたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村上大祭の映像資料を見せることで、扱う資料イメージをもちやすくする。 ○ 外見の写真に合わせて内部の写真を提示することで、家の中の梁や柱の様子が理解できるようにする。 ○ 家の中の梁と柱がいつもと違って見えた理由を考えさせることで、自分

展開 後段	<p>3 故郷である美郷町について、スケールチャートを用いて、自分たちの住む町の視点から考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 美郷町の変わたらいいなと思うことやもの ○ 美郷町の残したい・守りたいと思うことやもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わたらいいな →広い道路ができてほしい ・残したい・守りたい →伝統的な祭り →山や川などの自然 	<p>では気付かないふるさとのよさがあることを理解できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちが住む町に置き換えて考えさせることで、ふるさを見つめ直し、深く考えることができるようにする。 ○ 自分の考えをもとに、意見交換をさせることで、様々な考えに触れ、広い視野でふるさとの将来について考えることができるようにする。
終末	<p>4 話し合ったことや、自分たちの将来を踏まえて、ふるさととは何かを考える。</p> <p>◎ ふるさとって何だろう？</p> <p>5 美郷町に住む人々のインタビュー映像を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帰って来たいと思える大切な場所 ・なくなってほしくないもの ・守り続けたいと思うもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行のPR活動を振り返ることで、ふるさとに対する思いを考えやすくする。 ○ 中学卒業後の自分の進路を踏まえて考えさせることで、ふるさとを長い目で見つめることができるようにする。 ○ 地域の人々のリアルな声を聴くことで、ふるさとを思う気持ちを深めることができるようにする。

6 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> ○美郷町の良いところ ・人があたたかい ・祭りが盛り上がる ・自然が美しい 	<p>「ふるさと」を思う心</p> <p>9月〇日 (〇)</p> <p>「私の町」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・うらやましい ・暗い ・不便 ・恥ずかしい ・支えてくれている いつもと →違って見えた
<ul style="list-style-type: none"> ○残したい ○守りたい ・祭り ・自然 ○変わたらいいな ・広い道路 ・大型商業施設 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おしゃぎり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">町屋</div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふるさと」とは…? ・帰って来たいと思える大切な場所 ・なくなってほしくないもの ・守り続けたいと思うもの

7 評価規準

- 他者との話し合いの中で、多様な考えにふれ、「私」が自分の町の見方が変化したのは、どのような思いからであるかを考えることができているか。
- 村上大祭の「おしゃぎり」や町屋に対する「私」の思いを理解し、自分の住む地域の伝統や文化を守り、発展させていくために、どのような思いが大切であるかを考えることができているか。